

生徒の皆さんへ

市立西宮高等学校における新型コロナウイルス感染症対策について

市西では、生徒の皆さんが安心して学校生活を送ることができるよう、文部科学省や西宮市のガイドラインに基づき、以下のように進めていきます。感染症の収束に向けて、みんなで協力していきましょう。

1 基本的な感染症対策について

- (1) 発熱等の風邪症状がある場合には、自宅で休養することを徹底しましょう。
- (2) 免疫力を高めるため、「十分な睡眠」、「適度な運動」、「バランスの取れた食事」を心がけましょう。
- (3) 飛沫を飛ばさないように、基本的には常時マスクを着用することが望ましい。
ただし、体育の授業におけるマスクの着用は必要ありません。
- (4) 接触感染を避けるために、こまめに流水と石けんで手を洗いましょう。
アルコール等での手指消毒は、流水での手洗いができない際に補助的に用います。
- (5) 多くの生徒が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、1日1回以上消毒液を使用して清拭します。
- (6) 天候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに換気を行いましょ。
- (7) 可能な限り他者との距離を確保しましょう。
- (8) 「密閉」、「密集」、「密接」の条件が1つでも発生しないように努めましょう。

2 健康観察について

- ・毎朝、検温し、風邪症状がないか確認しましょう。発熱や風邪症状が見られる場合は、無理をせず自宅で休養してください。
- ・毎朝、健康観察表（配布した用紙）を記入し、その日のうちに1,2年生は Classi の「健康チェック」に、3年生は、Teams の「体調報告」にしてください。
- ・外傷等は今まで通り保健室で処置をしますが、発熱や風邪症状のある場合は別室で対処します。8月までは多目的室（PTA室）を別室として使用します。
- ・登校後に体調が悪くなった時は、保健室ではなく、まずは職員室に行き検温してください。発熱や風邪症状がある場合は別室へ、それ以外の場合は保健室へ行くように指示されます。

3 手洗いについて

- ・こまめに手洗いをし、清潔なハンカチかペーパータオルでよく拭き取って乾かしましょう。
- ・手洗いは、石けんと流水で丁寧に洗いましょう。
(10秒石けんでもみ洗いした後、流水で15秒すすぐ。)

<手洗いのタイミング>

- ①登校後、教室または職員室に入る前
- ②選択科目等で共有の机を使用する(前)後
- ③授業や部活で共有のものを触る(前)後
- ④昼食の前後
- ⑤トイレの後
- ⑥掃除の後
- ⑦日直が黒板を消す(前)後 など

4 消毒について

- ・手指消毒用にポンプ式容器を A 棟3階、4階、5階のエレベーターホールに2個ずつ、事務室前に1個、職員室前に1個、図書室内に1個、進路閲覧室内に2個を設置しています。
*アルコール消毒は補助的に使用し、基本的には石けんで手を洗いましょう。
頻繁にアルコールで消毒すると手肌が荒れ、感染症の原因になることがあります。
- ・教室やトイレ、階段、エントランスなど、多数の生徒が触る箇所（ドアノブ、スイッチ、窓の鍵、手すりなど）は、教職員で1日1回以上消毒を行っています。
- ・トイレは教職員が個室の扉の鍵の辺り、ペーパーホルダー、レバー、バケツの蓋、洗面所のカランなども1日1回以上消毒しています。
- ・部活動の後は、部室のドアノブ、スイッチ、窓の鍵などを、顧問といっしょにアルコールで消毒してください。

5 換気について

- ・天候上可能な限り常時対角2方向以上の窓を同時に開けて換気を行ってください。
休み時間は全開。授業中は、少なくとも10 cm ずつは開ける。
エアコン使用時も同様に換気を行ってください。
- ・換気をすれば十分な感染予防ができるというわけではないため、あわせて、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底しましょう。

6 その他

- ・教室内の掲示物は最小限にしてください。（ウイルスは紙上にとどまっています。）
- ・ウォータークーラーは状況が落ち着くまで使用を禁止します。各自で水分補給のために水筒などを持参しましょう。
- ・昼食は、自分の席で食べましょう。（席を動かさない。） *学校で食事をとってもよい時期になってから。
対面して食べない。
- ・トイレの順番を待つ時は、トイレの入り口前で一定の距離を保ち待機しましょう。（トイレ内と廊下に待機位置の印をつけてます。）
- ・トイレの便器の水を流す時は、はねた水が足などにつかないように気をつけてください。
- ・部室で更衣する時は、少人数で短時間使用してください。（決してトイレで更衣をしないように。衛生上危険です。）
- ・6月からスクールカウンセリングが実施されます。希望する場合は、担任や養護教諭に相談してください。

*「新しい生活様式」を実行するには、一人ひとりが意識して取り組むことが必要です。慣れるまで、大変なこともたくさんあるでしょうが、感染症が収束する日を願って、みんなで取り組んでいきましょう。しんどくなった時は、周りの人に話してみよう。